



第76回ヴェネツィア国際映画祭のオープニングを飾り レッドカーペットで輝くジャガー・ルクルト

ヴェネツィア、2019年8月28日：ヴェネツィア国際映画祭が華やかに幕を開けたオープニングセレモニーの夜、15年連続で同映画祭の公式パートナーを務めるジャガー・ルクルトが、レッドカーペットで至高のクリエイションを披露しました。

ジャガー・ルクルト CEO のカトリーヌ・レニエが、ジャガー・ルクルトの新作を着用したフレンド・オブ・ブランドのニコラス・ホルトとニー・ニー（倪妮）とともにオープニング・レッドカーペットを歩き、世界的に有名なフランス人女優のカトリーヌ・ドヌーヴとイタリア人女優のアレッサンドラ・マストロナルディもジャガー・ルクルトのタイムピースを身に付けてレッドカーペットに登場しました。創造性と革新性への情熱に突き動かされ、時計製造の卓越性へのたゆみない探求に打ち込むジャガー・ルクルトは、多くの価値観を映画界と共有しています。映画の真価が認められ、映画文化が守られていくことへの支援に長年取り組んできたスイスを代表するウォッチメゾン、ジャガー・ルクルトが、この世界で最も長い歴史を誇る映画祭のパートナーを務めることは当然の流れでした。

ヴェネツィア国際映画祭のメインスポンサーとして、ジャガー・ルクルトは、「監督・ばんざい！賞」を授与したり、最優秀作品賞（金獅子賞）と最優秀男優賞および最優秀女優賞（ヴォルピ杯）の受賞者それぞれにパーソナライズされたレベルソを贈るなど、10日間の期間中、積極的に映画祭を盛り上げています。

ジャガー・ルクルト

創設以来、ジャガー・ルクルトは正確さを完全な芸術へと昇華させ、高度なサヴォアフェール（ノウハウ）と芸術的センス、精密化と精巧な外観美の完璧な均衡を見出しました。1833年より培われた発明精神に忠実に、マニュファクチュールの職人たちは最先端の高級時計コレクションを創造しています。レベルソ、マスター、ランデヴー、そしてアトモス…。グランド・メゾンとして名高いジャガー・ルクルトが時の流れとともに築き上げた豊かな遺産は、絶え間ないインスピレーションの源となり、前例のないタイムピースを生み出すことで、時計製造の限界を押し広げていきます。